

# 第7回 市民と議会の意見交換会

## (記録)

1. 開催日 令和元年5月31日(金曜日) 午後7時00分～午後8時30分 及び  
令和元年6月1日(土曜日) 午前10時00分～午前11時30分
2. 会場 産業文化会館、黒川地区公民館、きのと交流館  
築地農村環境改善センター、ほっとHOT中条、にこ楽・胎内
3. 実施要領 常任委員会別に3グループに分け、それぞれのテーマを設定し  
意見交換を実施。
4. 参加者 31名
5. 意見交換内容

### 【1班】テーマ：①『子育て・教育・学びについて』

### ②地域の課題について

1. 開催日時 令和元年5月31日(金曜日) 午後7時00分～午後8時30分
2. 会場 胎内市産業文化会館 教養文化室
3. 参加者 10名  
議員 5名  
八幡元弘、坂上清一、天木義人、渡辺 俊、薄田 智

#### 【主な発言】

○参加者 市内小中学校の統廃合について、議員が一般質問で取り上げることはあったが、市長が具体的にふれたのは今回が初めてだと思う。現在どういう段階にあるのか。また、市長は小中一貫を強調していたが、今後の展開はどうなるのか。

⇒議員 特に中学校では、中条中学校と黒川中学校3年生を除いて、すべて1学年1クラスという状況にある。弊害として、保育園から中学校まで全て同じ顔ぶれで学んでいるといじめ等があった場合、逃げ場がなくなること、また、部活動で団体競技ができないために他校に編入する生徒がいること、現在の和気あいあいの生活から高校に進学したとき荒波にもまれて萎縮してしまうのではないかなどの問題が考えられるため改善を求めて

いた。今回、市長から一つの選択肢として小中一貫を検討するとの答弁があったが、改めて教育委員会へ検討いただくよう要望した。

⇒議員 小中一貫校では、1クラスの少人数の問題は改善されない。中学校では、部活動や対人関係など人格形成の大切な時期であり、小中一貫校で大丈夫かなと思っている。今後、学校のあり方について精査していく。

⇒議員 小中一貫校が決定ではなく、一つの選択肢であり、統合も含め今後検討するときいている。

○参加者 中条高校が普通科から別な方向に検討されていることが原因かわからないが、高校進学を機会に市外へ引っ越しする世帯がある。また、市内にアパートの新築が目覚ましいのに、人口が増えない。中核工業団地に企業誘致しているわりに人口が増えない。この状況をどのように捉えているか。

⇒議員 合併後13年間の人口動態は年間死亡者が400人、出生数が200人、就職等で転出が100人いて、平均して毎年300人ずつ減少している状況。中条高校は、現在、総合学科として、1年は基礎を勉強して、2年3年になってから地域の企業と連携しながら専門的な部分を勉強する形を取り入れており、それが就職につながればいいと考えている。しかし、市内在住の生徒の割合は3割以下であり、地元の中学生在が入りたいと思うような学校でなければ、いずれは衰退する恐れがある。

中条中核工業団地は、約8割が誘致済みで、約800人位が勤務しているが半分以上が市外の方なので、勤務も住居も胎内市にするようになるには、教育、買い物など総合的に良くなるといけないと感じている。

○参加者 町内では、アパートが建設されて人が増えているが住民票を移さないで生活している方もいる。人が住みたいと思える魅力あるまちづくりが必要。

○参加者 胎内市はいいところ。普通に生活しても支障はないが、他に誇れるものがない。1番がない。

○参加者 第二次総合計画には、行政、市民、議会などの役割が書いてあるが、それ検証をし計画に沿って事業を推進した方がよい。つくっただけでは、意味がない。

⇒議員 計画に基づいて定期的に検証する制度化が必要と感じている。

○参加者 中長期計画の進捗状況について、一目でわかるよう「見える化」にしてはどうか。

○参加者 中条高校に魅力がなくなっているのではないかと。地元で若い人達が就職して住んでも進学する時期には、条件のいい高校や地域を考えてしまう。以前は、中条高校から新潟大学へ現役で11人が合格・進学した時期もあった。

⇒議員 高校のレベルアップが不可欠、上を目指す教育が必要と感じる。

○参加者 中条小学校で今から68年前になるが、海での水泳授業中に事故が発生し、児童が死亡する痛ましい事故が起きた。命の尊さと水泳について、きちんと教え、自分の身は自分で守れるようになってもらいたい。

○参加者 (株)胎内リゾートの代表に副市長が就任した。リゾート施設の運営を行政から民間委託に切り替えたが、再度行政がかかわることに懸念を抱いている。人事について、事前に議会へ説明はあったのか。

⇒議員 (株)胎内リゾートの株を市が半分以上保有していることから、副市長が代表に就任したと推測している。人事については、事前に相談はなかった。

○参加者 当市の魅力づくりに胎内リゾートが必要という認識であれば、リゾート全ての内容を公にして市民に理解を求めるべきである。

○参加者 今回、49事業の事業見直しを実施したが、審議過程において、理解が得られるような説明があったのか。

⇒議員 見直しする49事業全ての細かい説明はなかったが、大きな見直し事業については、予算審査、一般質問などで審議をおこなった。

○参加者 事業仕分けについて、会派視察を実施したと思うが、市民参加型の事業仕分けとはどのようなもので、今後、胎内市の行政にどのように反映していくのか。

⇒議員 行政のほか、市民、近隣の他市の職員、大学関係者が参加して主要な事業を審議し、別な市民がその判定を行うことをオープンにして実施する手法で、結果、市民が行政に関心を持つようになった。一般質問でも指摘したが、今後、事務事業評価を議会、一般市民も参加するオープンな方式を実施したいと考えている。

○参加者 防犯灯のLED化に対する補助について、申込が多い場合、補助率を下げるような話を聞いたが、そのようなことがないよう補正予算も含め議会でも対応してほしい。

- 参加者 都市計画道路で、消防署から中条小学校までの通学路が狭いまま、何十年も変わっていないので計画どおり進めてほしい。
  
- 参加者 洋上風力はどうなるのか。  
⇒議員 現時点では、具体的な進展はない。
  
- 参加者 意見交換会について、日程・時間・テーマ設定など工夫し、市民が参加しやすい場となるようお願いしたい。
  
- 参加者 昨年、水道法の改正により水道事業の民間委託を報道等を見たが、不安である。行政が責任を持って事業継続してほしい。人口減少や設備の老朽化対応などの間で難しい問題であると認識しているが、効率や費用対効果など入り込めない分野と思うので設備の更新や漏水対策など計画的に進めてほしい。
  
- 参加者 昨年、県で水素エネルギーの研究会が発足し、今年、燃料電池車に燃料を補給する水素ステーションが稼働し環境にやさしい新たな取組が始まった。当市でも先進地として環境にやさしいまちづくりを目指してほしい。

1. 開催日時 令和元年6月1日（土曜日） 午前10時00分～午前11時30分
2. 会場 築地農村環境改善センター 2階会議室
3. 参加者 1名  
議員 5名  
八幡元弘、坂上清一、天木義人、渡辺 俊、薄田 智

### 【主な発言】

- 参加者 学校の介助員は、子どもの自立を手助けできる教育を受け、自分の役割を理解している方が望ましい。
- 参加者 最近、支援学級を必要とする子どもが増えていると思うが、自立できる子にするか福祉の力を借りるかの判断は、親が判断すること。
- 参加者 障がい者の受け皿として、例えば、農協と市が連携して、農業を仕事とする子ども達を育てていけないか。
- 議員 胎内市の介助員が不足している。先生OBに声をかけてもなってくれない現状である。
- 議員 胎内市は、教育面において、他市と比べてすごく充実している。
- 参加者 小規模学校であること、また、1つの教科を教える先生が学校に1人しかいない場合、その先生の資質、能力によって生徒の成績にすごく影響がでる。

### 【地域の課題】

- 参加者 実家は十分広い敷地なのに、子ども達は実家から出て、あかね町などに家を建てている。
- 参加者 のれんす号をもっと充実させて、車に乗らなくても暮らしていける地域になってほしい。

## 【2班】テーマ：①『健康・福祉について』

### ②地域の課題について

1. 開催日時 令和元年5月31日（金曜日） 午後7時00分～午後8時30分
2. 会場 黒川地区公民館 教養娯楽室
3. 参加者 6名  
議 員 5名  
小野徳重、羽田野孝子、森本将司、森田幸衛、渡辺宏行

#### 【主な発言】

- 参加者 ふれすぽ胎内は、利用したくても遠くて利用できない。
- 参加者 黒川体育館には、エアコンが無い。（ふれすぽ胎内にはある。）
- 参加者 黒川体育館は、老朽化のため壁が落ちてくる。再建計画はあるのか。
- 参加者 基金の積み立てをするのであれば介護保険料を下げるべきだったのではないか。
- 参加者 市の支援で「通いの場」を設立しても3か月後に自主運営になると人が来なくなってしまう。コーディネーターに継続して支援してもらいたい。
- 参加者 樽ヶ橋遊園のオウムの購入をクラウドファンディングで募り、入園券を返礼品にすれば誰も損をしないのではないか。
- 参加者 黒川の集落センターを取り壊して新築すると前市長から言われたが、どうなっているのか。宝くじ協会から費用が出るようだが見積もりなしで申請ができるのか。
- 参加者 市営住宅の退去に際し、私物を出しっぱなしのまま出て行く方がいるので困る。

1. 開催日時 令和元年6月1日（土曜日） 午前10時00分～午前11時30分
2. 会場 ほっとHOT中条 2階和室
3. 参加者 1名  
議 員 5名  
小野徳重、羽田野孝子、森本将司、森田幸衛、渡辺宏行

**【主な発言】**

- 参加者 以前、クアハウス胎内について、健康増進施設ではなく観光施設と市から言われたが、本来市民の為の施設ではないか。
- 参加者 クアハウスの値上げにより、今は他市のプール施設に通っている。
- 参加者 プールで水泳を教えている。
- 参加者 他市では、体育館利用について65歳以上の方を無料にしているところもある。
- 参加者 公共施設にスタンプカードを発行し、施設利用に応じて特典をつけてほしい。

## 【3班】テーマ：①『産業・雇用・生活基盤について』

### ②地域の課題について

1. 開催日時 令和元年5月31日（金曜日） 午後7時00分～午後8時30分
2. 会場 きのと交流館 大広間
3. 参加者 7名  
議 員 6名  
坂上隆夫、渡辺秀敏、渡辺栄六、桐生清太郎、丸山孝博

#### 【主な発言】

- 参加者 働く場所を増やしてほしい。7～8割の確率で南海トラフ地震が発生するといわれているが、例えば、トヨタなどの大企業を誘致してはどうか。
- 参加者 新潟中条中核工業団地の分譲率、また、市民の雇用者数はどのくらいあるのか。
- 参加者 若者に魅力ある企業をつくってほしい。関東の大学に進学する子どもが、帰ってくるように。正社員でなくとも派遣やパート職員でもよい。
- 参加者 他の市町村では、アイデアを出して観光に力を入れている。創造することが一番重要ではないか。例えば、笛吹市の「鶉飼」や「花火」、富山県の「風の盆」など。
- 参加者 胎内市には、魅力あるイベントがない。
- 参加者 奥胎内の紅葉に赤が足りない。赤い葉になる木を植えてはどうか。
- 参加者 海から山までの全域を含めた観光、特に奥胎内ダムの利活用を行ってはどうか。
- 参加者 村上市のひな人形巡りなど、いろいろなイベントがあるが、市民が一体となって作り上げている。胎内市も乙宝寺や少年自然の家など一体となってイベントができないか。
- 参加者 胎内市としてのPRが少ないのではないか。食料農業大学の学生や久世まんじゅう屋さんのように魅力を探して伝えていく人が必要である。
- 参加者 観光には旅行会社との連携が必要である。

#### 【地域の課題】

- 参加者 畜産関係の悪臭問題について、何回言ってもいっこうに改善されない。臭いを消す薬剤があると会社に伝えてもお金がかかるのでダメだと言われた。少年自然の家の利用者やくぼ地になっている畑で作業している人は大変迷惑している。新潟麦酒が特に悪い。乙地区は、どっこん水が湧いているが、水質調査をしてほしい。
- 参加者 大日川の改修工事を早く終わらせてほしい。掘削すれば、簡単なのではないか。

- 参加者 この意見交換会であるが、人数が少なすぎる。時間がもったいない。もっと人が集まる取組をしてほしい。
- 参加者 防災無線の外部スピーカーが乙地区にない。次回のメンテナンス時に設置されているが、早くしてほしい。津波が発生した時は、水没してしまう地域なので、早く住民に知らせる必要がある。
- 参加者 胎内市は、お金がなさすぎる。はずかしい。

### 【意見・要望】

- 畜産会社の悪臭問題を何とかしてほしい。
- 「どっこん水」の水質調査をしてほしい。
- 防災無線の外部スピーカーを早く設置してほしい。

1. 開催日時 令和元年6月1日（土曜日） 午前10時00分～午前11時30分
2. 会場 にご楽・胎内 和室
3. 参加者 6名  
議員 5名  
坂上隆夫、渡辺秀敏、渡辺栄六、桐生清太郎、丸山孝博

### 【主な発言】

- 参加者 工業団地の分譲率はどのくらいか。  
⇒議員 笹口浜側は100%埋まっているが、ソーラーパネルの割合が大きい。鴻巣側は、約75%埋まっている。両方合わせて、約82%の分譲で進出企業は24社で、来年もう1社増える予定である。
  
- 参加者 風力発電は、どのくらいの効果が期待できるのか。  
⇒議員 胎内川の左岸には、すでに10基が稼働しているが、右岸側にも9基の建設計画がある。左岸では、1基あたり2,000キロワットの発電をしている。洋上風力発電については、市長の公約に掲げており、市でもプロジェクトチームを作り誘致に向けて活動している。
  
- 参加者 洋上風力発電とは別に山に風力発電はできないのか。  
⇒議員 発電に最適な風が期待できるのは、海側である。
  
- 参加者 意見交換会の参加人数が少ないが、もっと人が集まるやり方を考えた方が良いのではないか。  
⇒議員 今回は、会場を4→6会場に増やし、時間帯も夜間だけでなく日中開催もとり入れ、またテーマを設定するなど工夫した。今回の結果を踏まえ、さらに集客については課題として検討していく。
  
- 参加者 意見交換会での意見や質問が出たら、必ず質問者へ返してほしい。言いつばなしで回答がなければ、参加者は増えない。  
⇒議員 8月には、結果をホームページ等で公表しているが、現状では個々への回答はしていない。今後、改善に向け協議していきたい。
  
- 参加者 第二次観光振興ビジョンには、行政、市民、事業者、観光協会などの役割等が掲載されている。その詳細について議員は、説明を受けたのか。

⇒議員 担当課から大まかな説明を受けたが、細かい部分までは把握していないので、委員会で調査するなど検討したい。

○参加者 事業見直しによる削減だけでは、明るいきざしが見えてこない。何か解決策はあるのか。

⇒議員 一例として、奥胎内の「ブナの巨樹」や日本一小さい山脈「櫛形山脈」など魅力をPRするなど、観光事業を推進し、交流人口をいかに増やしていくかが重要と考えている。

○参加者 自宅やその周辺で水道管が漏水しているのを発見した。今後、インフラの老朽化が心配である。

○参加者 市の管轄の河川が山からの土砂等で埋もれている。市に依頼しても、なかなか動いてくれない。大雨時の水害が心配である。

○参加者 今後、外国人労働者に頼らなければならないとなった時、どのように対応したらよいか。

⇒議員 都市部では、労働力不足により外国人を受け入れている状況であるが、当市では、まだそこまでは至っていない。しかし、今後は都市部同様に受け入れざるを得ない時代となってくるので、議員も勉強していく。

○参加者 有害鳥獣のサル対策として、捕まえたサルにGPSを付け群れの動きを把握するなど試みたが、今も続いているのか、やめたのかわからない。やることが中途半端で進展しないので、結果がでるまで継続してほしい。

○参加者 市から有害鳥獣による作物の被害額を求められるが、野菜を販売目的ではなく、自宅で消費する目的で作っているため、被害額としては算出できない。

○参加者 事業見直しにより、市で行っていた乳製品の加工・販売について民間業者に移行するとなっていたが、現在、乳製品の販売は行っていない。